

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区東麻布 1-26-2 1・2F
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりん東麻布

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

「食」への興味・探求(2 歳児クラス)

<テーマの設定理由>

- ・1 歳児クラスの時から食への興味が薄く、給食もなかなか進まなかった児が多いことから違う視点から食という観点に触れて少しでも関心を持つきっかけになればという思いから。
- ・見る・触る・においをかぐなど、五感を通して食材を感じることで、豊かな感性や気づきを育てるため

## 2 活動スケジュール

- 1、導入（食べ物に関する絵本の読み聞かせ）実際に大根・人参の種まき（7月）
- 2、日々の水やり・観察 芽が生えてきたところをスケッチ(7月)
- 3、暑さにより大根が枯れてしまったので広いプランターに植え替え（8月）
- 4、元気に生え変わって来ることはなく、近くの八百屋に大根を買い物に行く。  
購入した大根を触って観察（9月）
- 5、その大根と他の野菜たちを使っての調理員によるおみそ汁のクッキングを間近で見る(10月)
- 6、余った野菜の切れ端などで野菜スタンプをして絵を描く(2月)
- 7、調理職員の真似をして実際にキッチン玩具でクッキングする模倣遊びを楽しむ（2月・3月）

### 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

#### 「素材・道具」

ペットボトル じょうろ 大根の種・キッチン玩具・おままごとセット  
画用紙 クレヨン プランター 野菜の切れ端 食育エプロン・絵具

#### 「環境設定」

大根を植えて、毎日の水やりは3、4人ずつ交代制で行った。

クッキングの観察や植え替えも全員で行うと人数が多くてよく見えない為、3グループ程に分けて行った。

### 4 探究活動の実践

#### <活動の内容>

##### ・自分たちで野菜を育ててみる

野菜（今回は大根・人参）がどのように育つのかを知り、食への興味関心を高めた。また水やりなどの世話をを行うことで、食べ物ができるまでには時間や手間がかかることを知り、食材を大切にする気持ちや感謝の心を育てながら友だちと一緒に水やりや観察を行うことで、役割を持って取り組む経験を積むことを大切にしたい

##### ・観察、スケッチ

実際に自分たちで育てて、芽が出たところを観察しながら絵を描き、記録とした。葉の形や大きさ、色の変化などに気づき、大根の成長に関心を持つことを目的とした。また、「どんな形をしているのか」「昨日と何が違うかな」と考えながら描くことで、物事をよく見て気づく力も養うようにした

##### ・実際の野菜を使用しての野菜スタンプとキッチン玩具でのクッキングの模倣遊び

実際の野菜に触れたり断面の形をスタンプで楽しんだりすることで、野菜の形や模様気づき、食材への興味や親しみを持てるようにしたことと、キッチン玩具を使ったクッキングの模倣遊びを通して、日常生活で見ている料理の場面を再現し、役割を楽しみながら想像力や社会性を育てていった

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

一通りの活動を通して、子どもたちからは「この野菜、なんか変な匂いがする…」  
「固くて冷たい」「丸い形になった」「昨日より大きくなっているね」など、野菜の形やにおい、成長の変化に気づく声が多く聞かれた。また、子ども同士で「ここに押しときれいだよ」「一緒にお料理作ろう、エプロン着よう」「これはサラダね」などとやり取りをしながら、遊びを広げていく姿も見られた。保育者との関わりの中では子どもが気づいたことや感じたことを言葉にし、それに対して保育者が共感したり問いかけたりすることで、野菜や食べ物への興味や関心がより深まっていくことが実感できた。

## 5 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは自分たちで実際に野菜を育てたり、触れたり観察したりする中で、野菜の形やにおい、成長の変化に気づき、少しずつ食材への興味や関心を深めていく姿が見られた。また、野菜スタンプでは断面の模様や形を楽しみながら表現活動に取り組み、素材の特徴を感じながら自由に表現する姿が見られた。さらに、キッチン玩具を用いたクッキングの模倣遊びでは、友だちとやり取りをしながら役割を分担したり、料理を作る様子を再現したりするなど、生活経験を遊びに取り入れて楽しむ姿も見られた。これらの活動を通して、子どもたちが食べ物に親しみをもち、食への関心を深めるきっかけとなったと考えられる。しかし、このような活動を通して、実際に苦手な野菜を口にしてみることには直結せず、まだまだ苦戦する子どもたちなので今回で終わりにせず、今後も子どもたちの気づきや興味を大切に受け止めながら、食に関するさまざまな体験を取り入れ、食べ物を大切にする気持ちや食べることへの意欲につなげていきたいと感じた。



